

表3 97回再出題類題について

	再出題	類似	組合せ類似	計
必須	0	10	3	13
割合	0.0%	11.1%	3.3%	14.4%
理論	3	16	12	31
割合	2.9%	15.2%	11.4%	29.5%
実践	0	10	1	11
割合	0.0%	6.7%	0.7%	7.3%

表4 98回再出題類題について

	再出題	類似	組合せ類似	計
必須	0	5	3	8
割合	0.0%	5.6%	3.3%	8.9%
理論	0	16	13	29
割合	0.0%	15.2%	11.4%	29.5%
実践 (連問の実務以外)	0	6	2	8
割合	0.0%	15.2%	11.4%	29.5%
実践 (連問の実務)	0	0	2	2
割合	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%
実践 (連問の実務)	0	1	1	2
割合	0.0%	5.0%	5.0%	10.0%

のかを改めて見ることも大切です。

また、実践に即した問題抽出・解決能力を確認するために、実践の場で取り得る選択肢の中から「最も適切なもの」を選択する問題や、実践の場で取り得る明らかに「誤り」である選択肢を選択、または最も重要性が低い選択肢を選択する問題などが多く出題されることも知っておいてください。

③「必須問題」「薬学理論問題」「薬学実践問題」の直前対策

1) 「必須問題」は、出題基準に沿った基本的な問題が多く、第97回では86.1%の正答率でした。全体の約1/4を占めるこの「必須問題」を仮に90%得点すれば、「一般問題」は56.5%得点すれば良いことになります。直前期は、この必須問題対策が大切です。各領域に登場する語句を覚えるのではなく理解することを心がけ、なるべく多くの問題を解きましょう。

2) 一般問題の「薬学理論問題」は、国家試験や模擬試験を見ても、正答率が最も低いという結果でした。C B Tや必須の問題に比べ、文章が長くポイントをつかみにくく読解力を必要とするためだと思います。しかし「薬学理論問題」での既出問題出題率(表3、表4)は高く約30%でした。やはり既出問題をしっかりと解くことが重要

であると言えます。ただ、気を付けていただきたいのは(表4)にも示すように、98回の試験においては『再出題が1問もない』ということです。

一般問題は「薬剤師が直面する一般の課題を解釈・解決するための資質を

1) 苦手領域・苦手項目をなくす

国家試験には足切りがあります。合格するには、総点だけでなく、各領域に設定されている足切りに注意しなければいけません。

全総点で合格ライン(65%)を満たしていても、「必須問題」の総点で合格ライン(70%)を満たしていても、領域ごとに合格ラインがあるため、苦手領域があると足切りにかかって不合格になることがあります。各領域からまんべんなく出題されているのです。

また、弊校の自己採点システムのデータでは第98回の薬剤師国家試験では、「物理・化学・生物」と「衛生」で足切りにあった学生が他の領域に比べて多かったです。上記領域が苦手な第99回の受験生の皆様にはご注意い

確認する」ものであり、既出問題の丸暗記では点数が取れないようになっていと思われます。99回の試験においても再出題は期待できないでしょう。そのため、直前期の「薬学理論問題」の有効な勉強法は、7～8年分の既出問題を暗記するのではなく、周辺の事項を理解しながら勉強を進めることです。

3) 一般問題の「薬学実践問題」は、症例や事例を挙げて臨床の現場で薬剤師が直面する問題を抽出・解決するための資質を問う問題で、実践力・総合力・基礎力を確認する出題です。「複合問題」や実践的な問題である「実務」は、共に医療現場を経験しなければ解けない「長期実務実習」の成果を意識した実践的な問題、薬剤師から医師への提案や今後薬剤師が取り組まなければいけない事例などが出題されます。

また複合問題は、実務と他の領域の連問です。今まで全領域を勉強していますから、直前期こそ患者背景や他の領域との関連を理解すること等を考えながら問題を解きましょう。

ただき、1月中での対策を心がけてください。

2) 領域の壁を越えよう

効率良く多くの領域を一気に見直す方法があります。それは、『疾患別、臓器別に振り返ってみる』ことです。例えば、「肝硬変」という疾患に注目して振り返りをすれば、様々な領域の内容が関わってくることになりますので、領域の壁を越えて知識をつながながら振り返りができます。ぜひやってみてください。

3) 模擬試験を活用する

直前期の模擬試験を受けることで、合格に貴重な情報が得られます。

・2月の全国統一模擬試験は、全国の現役生のほぼ100%の方が受験します。自分が現在どのレベルにいて、合格に到達するにはどこをどのように勉強したらよいか対策が立てられます。自分の実力を知るチャンスですから、真剣に受験することをお勧めします。

最後の詰めとしては、全国の60%以上の受験者が解けて、自分が解けなかった問題があったらその項目を集中的に振り返りましょう。その項目を参考書や問題集に戻って勉強してください。解けなかった問題は、調べることでさらに理解度が高まります。

・既出問題以外の問題を解くことで、忘れていたことに気付くことができますし、予想外に覚えていなかった範囲の把握に使ってください。自分が『分かっていると思い込んでいる項目』に気付くことができますよ。

・「複合問題」は、問題のパターンに慣れることや科目の壁を越えた知識が関連づけられるチャンスです。また「新傾向の問題」に触れるチャンスでもあります。実践問題の新規問題に触れる機会はなかなかないと思いますので、問題を考えて解く良い機会になると思います。

最後に…

薬剤師国家試験は、「薬剤師になるべき知識、技能及び態度を習得し、医療人として求められる資質を見極める試験」ですから、決してやさしいものではありません。しっかりと知識を身につける必要があります。

ただ、薬剤師国家試験は資格試験であり、誰かを蹴落としていく試験ではありません。肉体的に精神的に限界と思ってしまう時があるかもしれません。ただ、限界は自分で決められます。「まだ頑張れる」「あと○日の辛抱だ」など、自分に言い聞かせながら、また友人たちと励まし合いながら頑張ってほしいと思います。

最後に何を勉強してよいか分からないとなった場合は、学内や予備校などで実施されている直前講習会に参加してはいかがでしょうか。重要項目やヤマを教えてくれるはずですよ。

この記事を読んでくださっている薬学生の薬剤師国家試験合格と薬剤師としてのご活躍を願っております。

◇ ◇
薬学ゼミナールお茶の水教室

小林 真



“最も身近な医療人”として活躍している先輩たちに会いに来ませんか？



- ◆ 専門薬局(日・祝定休日)と調剤併設型ドラッグストア(定休日なし)の両方を見学先輩から直接話を聞いてください。
- ◆ 日程は皆さんの予定に合わせます。
- ◆ 交通費は全額支給します。(大学最寄駅～浜松の往復)
- * ひとりでも気軽にメールでお申し込み下さい。

《異質を作る》(他社の真似をしない)
《失敗を恐れない》(果敢に挑戦する)
《よく遊び、よく遊び、よく学ぶ》



Uターン就職はもちろん、Iターン就職も大歓迎!住宅手当も充実しています。

調剤専門薬局 調剤併設型ドラッグストア ドラッグストア

調剤はもちろん、あなたの個性に合った、あなたが生き生き活躍できるフィールドが選べます。



株式会社 杏林堂薬局

〒430-7713 静岡県浜松市中区板屋町111-2 浜松アクタワー13階
TEL : 053-453-5555 E-mail : suzuki-ta@kyorindo.co.jp 担当鈴木まで